

[特集]

# 愛犬と一緒におでかけ

## あなたは電車派？ それとも車派？



愛犬家にとって車は大切な移動手段ですが、  
犬を連れて電車などの公共交通機関を利用している人も多く見かけます。

そろそろおでかけが気持ちいい季節。

愛犬に負担をかけず、車や電車などをスマートに乗りこなす  
ポイントを探ってみましょう。



監修：高倉はるか

獣医師。ペットライフアドバイザー。東京大学農学部獣医学科卒業。同大学大学院農学生命科学科獣医学専攻博士課程在学中にアメリカへ。カリフォルニア大学デービス校附属動物病院にて行動治療学を研修。その後、動物病院での診察や大学講師、獣医師への講義、講演などを務める。

# 電車派



**電車でも、車でも、  
「飼い主さんがそばに  
いれば安心」  
そんなおでかけ上手な  
犬にしよう**

犬を飼っている人なら、ほとんどの人が愛犬と一緒におでかけした経験があることでしょう。

最近はドッグランが設けられている高速道路のサービスエリアやパーキングエリアも増えてきて、愛犬とのドライブは愛犬家の楽しみの一つになっていきます。また、かわいいキャリーバッグに愛犬を入れて電車に乗っている人を見かけることも多くなりました。

大型の犬や複数頭の犬を飼っていて荷物が多い場合は、車でおでかけが便利ですが、小型の犬なら、キャリーバッグに入れて電車で移動するのが気軽かも知れません。

どのような交通手段をとるにしろ、犬ができるだけ安心して過ごせるように飼い主さんは配慮したいものです。不安を感じながらの移動では犬もかわいそうですし、不安から鳴いたり体調を崩したりしてしまい、まわりの人に迷惑をかけることにもなりかねません。また、愛犬が不安がっていたのでは、出かけることそのものが楽しくなくなってしまいます。

# 車派



※走行中、車の窓から愛犬が顔を出すのは非常に危険。安全な場所で車が止まってからにしよう。

飼い主さん自身も不安になりますし、その不安は愛犬にも伝わります。

おでかけが楽しめるようになるポイントには3つ、「しつけ」「経験」「信頼関係」です。詳しくは後述しますが、この3つは子犬のうちから育んでいく必要があるものです。

また、車や電車に乗せるときはルールや注意点を知らないと、とんでもないトラブルに巻き込まれてしまうこともあります。

おでかけ中にいやな思いをすると、犬は不安を感じるようになることがあります。「一度のおでかけで懲りてしまった……」などということのないよう、万全の準備をして出かけましょう。

慣れてくれば、愛犬とのおでかけはとても楽しいものです。外に出ると愛犬の性格がよく理解できるようになるので、飼い主さんと愛犬との絆も深まりますし、しつけや豊かな社会性を育むことにも役立ちます。おでかけに慣れれば、非常時にも大きなストレスを感じることなく過ごせるでしょう。

犬は一人旅でも家族旅行でも最適な旅仲間です。さあ、愛犬と一緒におでかけを楽しみましょう。

# 準備は子犬のときから

## 「しつけ」

家庭内できちんとしつけていても、外ではできない、ということも多いもの。飼い主の「オイデ・オスワリ・フセ・マテ」のコマンド(指示)にきちんと従うことができるように、いろいろな場所でもしつけておこう。

## 「経験」

環境や時間が変わっても「食事・排泄・睡眠」が不安なくできるように、いろいろな場所へかけて慣らし、経験を積んでおこう。

おでかけの準備は、子犬を迎えたときから始まります。おでかけ上手な犬には、基本的な「しつけ」、おでかけの「経験」、飼い主さんとの「信頼関係」が欠かせません。

**まわりに迷惑をかけないための「しつけ」を**

「しつけ」とは犬が人間社会で暮らしていくためのルールを教えることで、基本的なしつけがされていない犬のおでかけは困難です。

しつけは子犬のうちから教えておくことが大切で、とくに重要になるのが、命にかかわる食事・排泄・睡眠に関するしつけです。場所や時間が変わってもきちんと食事をとることができ、勝手にトイレをするのではなく、指示されたときに、指示された場所で排泄することができる、夜は静かにすることができ、どこでも眠ることができる、という基本的なことができていれば、おでかけでも困ることはないでしょう。

また、「オイデ」「オスワリ」「フセ」「マテ」の基本のコマンド(指示)には必ず従うように、ほめながら楽しくしつけをしましょう。これらのコマンドに喜んで従うことができれば、どこへ行ってもまわりの人に迷惑をかけずに過ごすことができます。

**いろいろな場面で「しつけ」と「経験」を積む**

食事・排泄・睡眠のしつけや、オイデ・オスワリ・フセ・マテのしつけは、家庭内で教えるだけでは不十分です。おでかけに連れて行くためには、あらゆるシーンを想定し、いろいろな場所ですしつけて、繰り返し経験させておく必要があります。

食事は、毎日同じ時間、同じ場所で同じフードを与えるのではなく、たまにはいろいろな場所や時間に与えてみます。いつもと違うお皿で与えたり、いつもと違うフードに換えたりして、いつでもどこでも食べられるようにしておきます。

排泄は、ふだんは室内のトイレでする場合に、「トイレ」というコマンドでトイレシートの上に排泄ができるように教えておき、徐々に場所を変えていきましょう。家の中だけでなく、散歩の途中や公園の隅などにもトイレシートを敷いて、指示されたとき、指示された場所でトイレができるようにしておくのが便利です。



## おでかけの必需品

クレートのカバーや敷物、保温、服代わりなどに使えるバスタオル、掃除などのための小さめのタオル数枚、濡れたものを入れるビニール袋は多めに。水を入れる容器やペットシーツは必携。

### バスタオル

クレートの上にかけて目隠しに使ったり、愛犬の保温や服代わりにも使える。



### 袋類

排泄物の処理にはレジ袋やジッパー付のビニール袋が便利。ジッパーが付いたものがあれば、ドッグフードを一食分ごとに小分けすることもできる。



### 予備のリードと首輪 ペットシーツ など



## 「信頼関係」

「飼い主さんと一緒ならどこへ行っても怖くない」と愛犬から信頼され、「この子ならどこへ連れて行ってもほかの人に迷惑をかけない」と愛犬を信頼できれば、おでかけはもっと楽しくなる。



睡眠は、子犬の頃から毎日クレートに入るしつけを行い、夜間など数時間入っていられるように慣らしませ。慣れると犬はクレートに入れれば寝るものだと思って、すぐに安心して眠るようになります。トレーニンクは、家の中だけでなく、庭や玄関先おでかけ先など、いろいろなところで行うとよいでしょう。

コマンドは「入って」と「出て」など、動作の流れを組み合わせて使います。途中で出たがっつてもすぐには出さず、静かになったところで出すようにします。慣れてくると、外出先でも我が家でくつろぐような安心感でいられるようになります。

なお、クレートやキャリーバッグをいやがるのは、「無理やりそこに入れられて病院に連れて行かれ、痛い思いをした」などの思い出があるからかも知れません。そのようなときは、おでかけ用に別のものを用意することも検討してみましょう。

オイデ・オスワリ・フセ・マテの基本的なしつけも、いろいろなシーンで教えた方がいいです。散歩の途中、来客があったとき、ドッグカフェやドッグランの中などでも練習し、経験を積み重ねて、いつでもどこでもコマンドに従えるようにしておきましょう。

## 「信頼関係」を築く

愛犬と楽しくおでかけするには、飼い主さんと愛犬との「信頼関係」がきちんとできていることが大切です。いっぴりなトラブルを起こすかわからない愛犬と、愛犬が信頼していない飼い主さんのコンビでは、お互いが疲れるばかりです。

信頼関係は一朝一夕に築けるものではありませんが、前述のような「しつけ」をきちんと行い、外出のたびに多くの「経験」を重ねていけば、自然に信頼関係は強化されます。犬の性格やしつけの度合いを飼い主さんがきちんと把握し、うまく愛犬をリードしていきましょう。たとえば、犬が不安を感じているとき、飼い主さんからの声かけで安心する犬もいれば、逆に騒いでしまう犬もいますから、愛犬に合わせた対処が必要です。

ただし、「おでかけのふりをして病院に連れて行く」など、犬の期待を裏切るような行為は、愛犬の飼い主さんへの信頼をそこねる原因になるのでやめましょう。

きちんとしつけをしながら、楽しい経験をさせることによって信頼関係を築き、おでかけを楽しみましょう。



# 「電車派」のための スマート乗車術

電車などの公共交通機関を利用するときは、まわりの人に迷惑をかけることと、愛犬に余計な負担をかけないことを両立させることが大切です。

## 電車デビューは慎重に

騒音や揺れがあり、見知らずの人がすぐ近くにいる電車に乗せられるということは、犬にとって初めての経験です。いきなり長時間乗せられると、電車に対して悪いイメージをもってしまうことがありますから、徐々に慣らすようにしましょう。

音に敏感で臆病な犬の場合は、まずは踏切の近くなどで、徐々に電車の音に慣れさせるとよいでしょう。いよいよ乗せることにしたら、まず散歩をして、少し疲れさせてからキャリーバッグに入れて、1〜2駅間だけ電車に乗せて帰ります。1〜2駅先に公園がある場合は、電車に乗って公園へ行って遊び、また電車の中で帰るのもいいでしょう。電車の中で落ち着かない場合は、電車の中でだけおやつをガムを与え、電車から降りるときに取り上げるという方法もよいでしょう。

愛犬の性格や好みに合わせて、「電車に乗れば楽しいところに行ける」「電車に乗ればおやつがもらえる」など、電車に対してよいイメージをもつような方法を考えてみましょう。臆病な犬でも、1週間に3回くらい電車に乗せるペースで1カ月くらい続ければ慣れるでしょう。

## 乗車時間は成犬でも2〜3時間

愛犬を連れて電車で出かけるときは、行きも帰りもラッシュアワーを避けるように計画を立てましょう。

また、移動中は狭いキャリーバッグの中で身動きができず、排泄もできません。ふだん5時間以上トイレをがまんできる犬でも、緊張で排泄のリズムが狂うこともありますから、移動時間は2〜3時間が限度と考え、3時間を超える場合は必ず休憩を取るようにしましょう。休憩時は、一度キャリーバッグから

犬を出し、排泄をさせたりペットシートを交換したり、水を飲ませたりしたいところですが、駅構内で犬をキャリーバッグから出して排泄させるといった勝手な行動は慎まなければなりません。わからないときは、どこで行うことができるかを、駅の係員に確認しましょう。途中下車をしなければならぬ場合もありますので、余裕をもって出かけた方がいいです。

なお、トイレをがまんさせるために水分の摂取を控えさせるようなことは、絶対に避けなければなりません。

## 電車の中ではさりげなく犬に注意を

乗車する際は、できるだけ乗客の少ない車両を選び、扉の近くに立つか座るかしましょう。扉の近くが混んでいる場合は、奥の隅のほうに立つとよいでしょう。

座席に飼い主さんが座る場合は、他の乗客に注意して、キャリーバッグは座席には置かず、足元に置くか、膝の上に乗せます。足元に置く場合は、冬は暖房が効きすぎていないか注意しましょう。

電車の中では、愛犬にあまり頻繁に声をかけたり覗き込んだりしないほうがよいでしょう。飼い主さんが気にしていると、犬も不安になりますし、まわりの乗客も気になってしまいます。理想的なのは、気にしないふりをしながらも、愛犬の状態や周囲の乗客などに注意を怠らないことです。

愛犬がまわりを気にして落ち着かないときは、キャリーバッグをタオルなどでおおって外が見えないようにするとよいでしょう。ただし、外の様子が見えるほうが安心できる犬もいますから、愛犬の性格やそのときの様子によって配慮してあげましょう。



## 電車に慣れさせるためのしつけ



1) 電車やバスに慣らすには、怖がらない距離から徐々に見せること。遠くに見えたところから「電車来たね」とおやつを与えるといい。



2) 自宅でキャリーバッグに入れるようになったら、バス停や駅前などでキャリーバッグに出入りする練習をする。



3) 慣れてきたら、1～2駅乗って、楽しく遊んで帰ることを繰り返すと、電車に乗ると楽しい場所に行けると思うようになる。



4) 緊張したり、興奮したりする犬は、たづぶり散歩して疲れてから乗せると良い。疲れてキャリーバッグの中で寝てしまうようになれば、もうゴールは近い。



5) 電車内では、飼い主さんは極力犬を気にしないで、ゆったりとした気持ちでいること。何回ものぞいて心配すれば、犬も不安になってストレスが高まる。

### マイクロチップを入れておこう

外出先では、愛犬がどのようなトラブルに巻き込まれるかわかりません。どんなに注意していても、事故などがあれば見知らぬ土地で迷子になることもあります。

そのようなときに備えて、マイクロチップの装着をおすすめします。マイクロチップは直径2mm、長さ約8～12mmの円筒形の電子標識器具で、一度動物の体内に埋め込むと、安全で確実な身元証明になります。盗難や事故、災害などの際にも役立ちます。

※マイクロチップの詳細は41ページをご覧ください。

### 愛犬のストレス管理

キャリーバッグの中で愛犬が次のような行動を取ったときは、ストレスを受けていると考えられます。

- ① 立ったり座ったり、ぐるぐる回ったりして落ち着かない(ストレスを感じて、自分で自分をリラックスさせようとしている)。
- ② ぶるぶると震えたり、あくびをしたり、飼い主をじっと見たりする(飼い主に伝えたいことはあるが、まだがまんできている)。
- ③ ハアハアとパンティング呼吸をする(ストレスが強くなってきている)。
- ④ クンクンキャンキャン鳴きだす(排泄やのどの渇き、暑いなどの相当の欲求や理由があり、強いストレスがかかっている)。

電車に乗る練習中に、①～③のような行動が見られたら、クンクンキャンキャンと鳴きだす前に次の駅で電車を降りるほうがよいでしょう。鳴いてから電車を降りると、鳴けば電車から降ろしてもらえると覚えてしまいます。

ただし、④のように電車に乗り慣れているはずの犬が鳴きだしたときは、何か特別な欲求や理由があるときです。叱ったりせずに、愛犬の様子に注意しながら電車から降りて確認しましょう。



立ったり座ったり、ぐるぐる回ったりする。



ぶるぶると震えたり、あくびをしたりする。



ハアハアとパンティング呼吸をする。



クンクン、キャンキャンと鳴きだす。



# 電車の犬同伴時の乗車規則、 どのくらい知っている？



協力・小田急電鉄株式会社  
CSR・広報部 鈴木公夫

電車に愛犬を連れて乗るときは、

多くの人がキャリーバッグに愛犬を入れていていると思います。しかし、スリングやリュックから犬の顔がのぞいていた…、そんな光景を目にして愛犬家としてビクッとしたことのある人もいるのではないのでしょうか。

また、愛犬の乗車料金は必要ないと思っただけに請求されたという経験のある人もいるかもしれません。

電車に犬を連れて乗るときの規則は、会社によって異なりますので、注意して利用することが大切です。

そこで今回は、電車に乗るときに「少なくともここだけは気をつけてほしい」という点についてまとめてみました。

## ■犬の乗車方法

日本では、基本的に犬の全身が隠

れる容器に入れることが条件です。

その容器は、長さが70センチ以内で、縦・横・高さの合計が90センチ程度で、容器と犬を合わせた重さが10キロ以内であることなどです。

ペット用カートについては会社により対応が異なります。そのままの状態では乗車できるところもあれば、折り畳んだり、バッグ部分を分解しないと持ちこめないとところ、全面的に持ちこめないとところなどがありますので、それぞれ確認が必要です。

スリングについては、犬の体が容器から出ていると乗車できないため、基本的にスリングで乗車することはできません。

## ■犬の乗車料金

JR各社では、手回り品料金が1個につき270円で、乗車する際、

改札口などで荷物を見せて普通手回り品きつぷを求めする必要があります。

そのほかの鉄道では、たとえば大都市の地下鉄や私鉄では無料のところが多いのですが、地方の鉄道では料金が必要のところも少なくありません。

乗車する際は必ず駅係員に確認する必要があります。

## ■乗車する際の注意

鉄道会社によると、愛犬家が多くなってペットの鉄道利用の規制を緩和してほしいという要望もある一方で、動物アレルギーの方や動物が苦手な方からは規制を強めてほしいという要望もあるということです。

犬連れの人も犬を連れていない人もすべての人が安全・快適に過ごせ

るよう乗車する際は係員に必ず声をかけ、容器の大きさや状態、料金などについて確認するようにしたいものです。

## 都市ではペットタクシーも誕生

自家用車がない方には、東京や大阪、名古屋などの都市圏を中心に、通院や旅行、引っ越しなどの際に利用できるペット専用のタクシー会社もあります。会社により、状況に依り、ペットだけを運ぶところや、飼い主さんが同乗することができるところもあります。

愛犬が気持ちよくタクシーに乗せてもらうには、一人ひとりの飼い主さんと愛犬のマナーにかかっているといえるでしょう。





各鉄道会社の乗車規程

		犬同伴時の乗車方法	制限	料金
東京	JR 東日本 (東日本旅客鉄道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の全身が入るケースに入れること。</li> <li>・抱いたままやバッグに入れた状態は不可。</li> <li>・駅構内や車内ではペットを、ケースから出さない。</li> <li>・ドッグスリングでは全身が入っていても利用できない。</li> <li>・ケースとカートを分離する場合を除き、ペットカート（ペットバギー）は、利用できない。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	小田急電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬を制限内の容器に入れること。</li> <li>・他の旅客に危害をおよぼしたり、迷惑をかけるおそれがないと認められるものであること。</li> <li>・ペット用カートの利用は制限内のものであれば可能。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	京王電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬を制限内の容器に入れること。</li> <li>・他の旅客に危害をおよぼしたり、迷惑をかけるおそれがないと認められるものであること。</li> <li>・ペット用カートの利用は制限内のものであれば可能。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	東京メトロ 都営地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手回り品として、縦・横・高さの合計が250cm以内・重さ30kg以内のもの2個まで持ち込み可。</li> <li>・ただし、他のお客様のご迷惑とならないよう完全なケースに入れる。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	ゆりかもめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器（3辺の和が250cm以内、30kg以内、長さ2mを超えるモノは除く）に収納する。</li> <li>・ただし、駅や車内ではケースから出さないようにし、他のお客様のご迷惑とならないよう注意する。</li> </ul>	一辺最大長さ：200cm 縦横高さ合計：250cm 重量制限：30kg	無料
	東急電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬を容器に入れること（頭や足など一部が容器の外に出るようなものは持込めない）。</li> <li>・他の旅客に危害および迷惑をかけるおそれがないもの。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	京成電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦・横及び高さの合計が90cm以内で、1辺の長さが70cm以内。容器と小動物の合計が10kg以内。</li> <li>・他のお客様に危害やご迷惑がかかる恐れがないよう、容器から頭や手足が出ないものであること。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	京急電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の旅客に危害をおよぼしたり、迷惑をかける恐れがないと認められる小動物に限って持込可。</li> <li>・制限内の容器に入れること。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	東武鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の容器に入れること。</li> <li>・他の旅客に危害または迷惑をかけるおそれがないよう、容器から頭や手足が出ないものであること。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
	西武鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の容器に入れること。</li> <li>・他の旅客に危害または迷惑をかけることのないようご注意ください。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	無料
大阪	JR 西日本 (西日本旅客鉄道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の全身が入るケースに入れること。</li> <li>・抱いたままやバッグに入れた状態は不可。</li> <li>・駅構内や車内ではペットを、ケースから出さない。</li> <li>・ドッグスリングでは全身が入っていても利用できない。</li> <li>・ケースとカートを分離する場合を除き、ペットカート（ペットバギー）は、利用できない。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	近鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の容器に入れること。</li> <li>・他のお客様に危害および迷惑をかけるおそれがないこと。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	南海電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の容器に入れること。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	京阪電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1個につき手回り品料金270円が必要で、持ち込みは2個まで。</li> <li>・制限内の容器に入れること。</li> <li>・他のお客様に危害を及ぼすことがない、または迷惑をかけないものであること。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	阪急電鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の全身が隠れ、ふたが閉まるケースに入れること。ケースは全部隠れる状態で制限内の大きさであれば、かばんでも持ち込み可能。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	阪神電車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の容器に入れること。</li> <li>・他のお客様に危害および迷惑をかけるおそれがないこと。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
名古屋	JR 東海 (東海旅客鉄道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の全身が入るケースに入れること。抱いたままやバッグに入れた状態は不可。</li> <li>・駅構内や車内ではペットを、ケースから出さない。</li> <li>・ドッグスリングでは全身が入っていても利用できない。</li> <li>・ケースとカートを分離し、なおかつ分離したものが手回り品（縦・横・高さの合計が250cm以内・重さ30kg以内のもの2個まで）の範囲内の場合を除き、ペットカート（ペットバギー）は、利用できない。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円
	名古屋鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限内の容器に入れること。</li> <li>・他のお客様に危害および迷惑をかけるおそれがないもの。</li> <li>・駅や車内では容器から出さない。</li> </ul>	一辺最大長さ：70cm 縦横高さ合計：90cm 重量制限：10kg	270円

※このデータは2014年3月1日時点でホームページ上に掲載されているものから作成したものです。詳しくは各鉄道会社のホームページもしくはお問い合わせセンターなどでご確認ください。



# 「車派」のための 快適クルマ術

## 車嫌いにしないために

車嫌いの犬は意外と多い。いきなり車に乗せてドライブに連れ出すようなことは避けた方がよいでしょう。最初は止まっている車で、「乗って」「降りて」などのコマンドで乗りの練習をして、おやつを与えたり中で遊んだりして、喜んで車に乗るようにしましょう。

車の乗り降りに慣れたら、ドアをボタンと閉めたり、エンジンをかけたりしながら、車の音や振動に慣れさせます。それに慣れたら、家の周りを走ったり、近くの公園まで乗せて行き、遊んで帰ることで車の中で疲れて眠るよう、慣らしていきます。急発進や急停止は、犬にとって強いストレスになり、車酔いや車嫌いの原因にもなりますから、できるだけスムーズなエゴ運転を心掛け、徐々に距離を伸ばしていきましょう。

## 車酔いを防ぐには

車酔いしやすい場合は、乗車30分

くらい前までに、いつもの食事量の3分の1ほどを食べさせ、食べ過ぎないように注意しましょう。排泄は乗車前に済ませておきます。

また、乗る前に運動をさせて疲れさせるのもよい方法です。そのほか、犬用のガムを与えたり、車の窓を少し開けておいたり、犬によってどのようなときに車酔いしやすいかを把握して対処するとよいでしょう。

車酔いがひどい場合は、獣医師に酔い止めを処方してもらい、様子を見るとよいでしょう。

## 休憩を上手にとり リフレッシュを

車でのお出かけでは、安全運転のためにも休憩は必要ですから、2〜3時間ドライブをしたなら、愛犬とともに一度は車から降りてリフレッシュを図りましょう。

愛犬を車から出すときは、勝手に飛び出さないように注意しましょう。対策として、あらかじめクレートやキャリーバッグに入れる前からリー

愛犬が車に慣れてくると、飼い主さんは安心ですが、車の中で自由にさせるのは危険です。おとなしくしていられるようにきちんとしつけをしましょう。



## 高倉先生に聞きました 車嫌いは直すことができる？

私が以前飼っていた犬も、車が大嫌いで、自分で乗ることもできませんし、抱っこして乗せると伏せて動くこともできませんでした。

ブリーダーさんのところで生まれたその犬は、車に長時間乗せられて初めて私に会い、そこからまた車で家まで連れてこられて、「車に乗るとどこかに知らない人のところに連れて行かれる」と思ったのか、最初は車に近づくこともせず、車のドアが開まる音がするだけで怖がって逃げていました。

そこで、車に乗ったら一番好きなおやつをあげるということを繰り返すうちに少しずつ慣れてきて、たくさん遊びに連れて行っただけです。それこそ遊び疲れて家に帰ってもご飯を食べずに寝ちゃうほどに。

そうしたら、ほかの人が車のドアを開けても飛び乗るほど車が好きになりました。若いうちだったから克服できたのかも知れませんが、一度自信がつけば車嫌いは直ります。そのためには車で楽しい思いをたくさんさせてあげたいですね。

かないようにしましょう。

ドをつけておき、その中から出す前にリードをつかみ、一度「オスワリ、マテ」と指示し、「出て」のコマンドで外に出すようにしましょう。

## 愛犬の席はどこの座席？

車に犬をそのまま乗せると、運転の邪魔になったり、急ブレーキをかけたときなどに転がったりして危険です。どんなに短い距離でも、「車に乗ったらクレートやキャリーバッグ

などに入る」ことをルールにしましょう。クレートやキャリーバッグはシートベルトなどですっかり座席に固定するか、座席の下に入れて動

きます。高速道路などで同じ方向に走っていると、長時間同じ側から太陽光が当たり、クレート内部は予想以上に高温になることもあります。

ドライブをするときは、おとなしくしていても、愛犬の様子に配慮することが大切です。クレートやキャリーバッグの近くに温度計を置いて確認するのもよいでしょう。



## 車嫌いにしない、上手な慣らし方



1) 完全に停めた車に犬を乗せたり、降ろしたりの練習をする。乗っているときだけ大好物のおやつを与えるとよい。



2) つぶれない丈夫なクレートを車に積み、クレートに出入りする練習をする。クレートの扉を開め、おやつを与えるとよい。

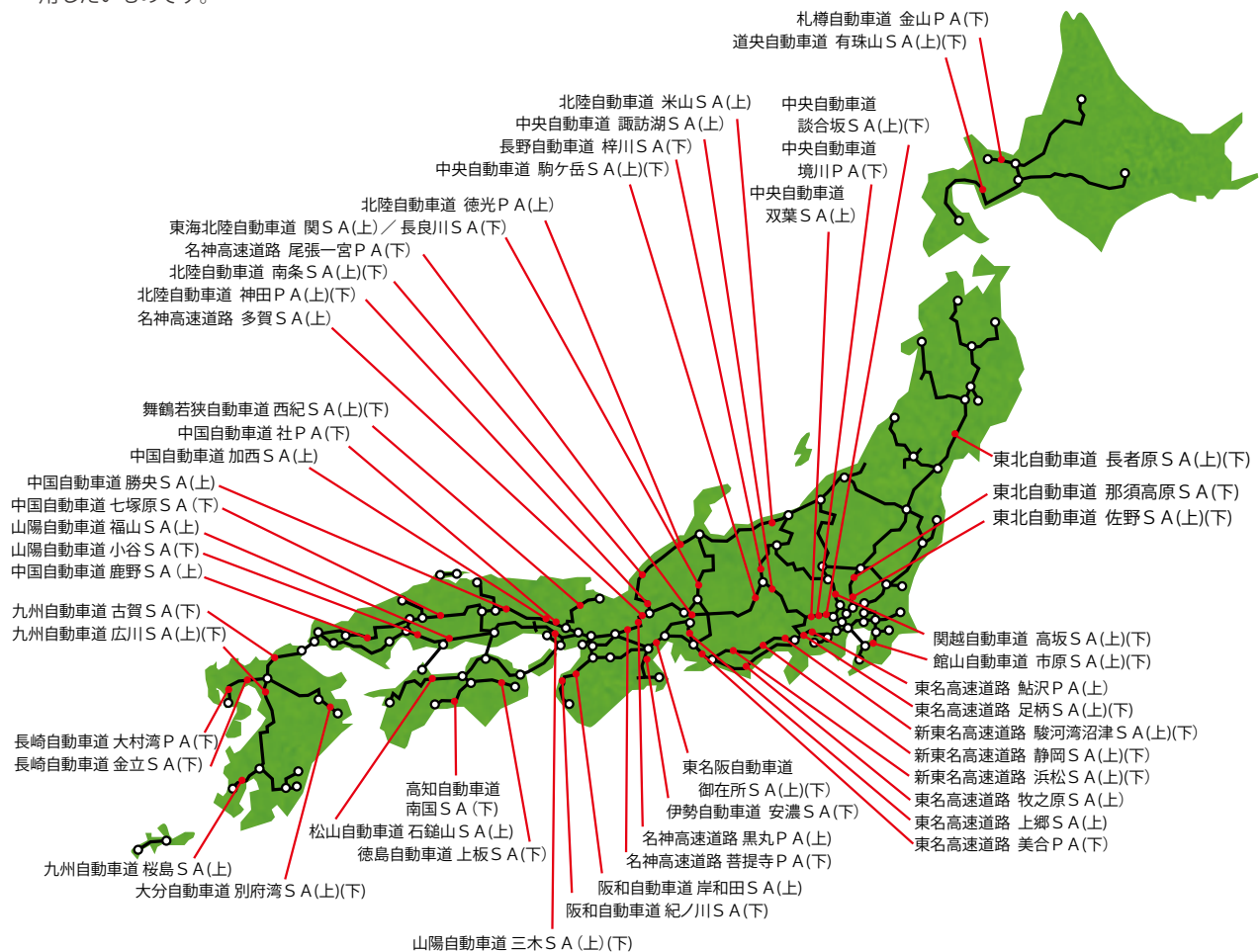


3) 車のエンジンをかけたまま、1)、2)を練習し、慣れてきたらよいよ近所を走ってみる。

【ポイント】車に乗っているときだけおやつがもらえ、降りたらおやつは与えないことが大切です。おやつに勝るごほうびは、着いた場所で楽しく遊ぶことです。犬がそれを楽しみにするようになったら、1)と2)のおやつは不要になります。

## 全国にこんなにあるSA・PAのドッグラン

車でのお出かけでは2～3時間ごとに休憩が必要。高速道路のサービスエリアには、全国各地にドッグランが設置しているところが多々あるので上手に利用したいものです。



※このデータは2014年3月1日時点のものです。詳しくはホームページ等でご確認ください。



## 「車派」のための快適クルマ術

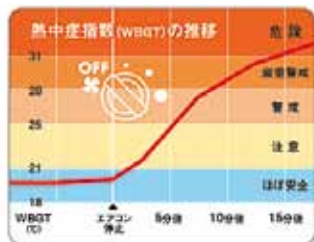
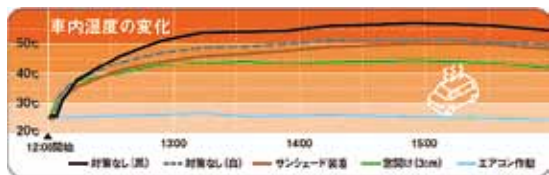
**JAFが指摘！  
こんなトラブルに注意**

いざというときに頼りになるJAF（一般社団法人日本自動車連盟）のロードサービス（故障救援）。犬が関係するトラブルについて、ロードサービス部技術課主任の伊藤貴敏さんに伺いました。

——犬が関わっているトラブルではどのようなものが多いのでしょうか。

キー閉じ込みですね。キーをつけたまま犬を残してドアを閉めていて、

## 熱中症に注意



(JAF ホームページより)

真夏、炎天下の駐車場に置いた車の車内温度はあっという間に50度を超えます。サンシェードをつけたり窓を開けたりしても効果はあまりありません。エアコンをつけたままの場合、温度の上昇を防ぐことはできませんが、誤動作で車が動いたり、燃料が切れてエンジンが止まり、エアコンが停止したりすることもあります。エアコンが停止すると、約15分で熱中症指数が危険レベルにまで達してしまいます。

犬がドアを掻いたり足をかいたりして偶然ロックがかかり、開けられなくなったというケースが多いですね。

その場合、工具を使ってドアを開けますが、飼い主さんには反対側で犬の興味を引いてもらいます。そうしないと危ないだけでなく、ロックを解除した途端にまた犬が足でガリガリしてロックをかけてしまうんです。

スマートキーになって現在はそういうトラブルは減っていますが、車内に犬だけを残すのはやめたほうがいいですね。4月でも車内温度は50

度近くになります。救出が遅れると、熱中症で命の危険も出てきます。

——以前、エアコンが壊れていて犬が死んでしまったということがありました。

バッテリーやエンジンのトラブルでもエアコンは効かなくなります。JAFの救援依頼で最も多いのは「バッテリー上がり」。車の使用状況にもよりますが、バッテリーは数年で寿命を迎えますので定期的なメンテナンスが必要です。

——犬が車内を自由に歩き回れるという状況もよくないですね。

走っているときに犬が窓から顔を出して落ちてしまったとか、ブレーキをかけたら転んでケガをしたということもありました。また、高速道路のSA・PAでは、何も知らない同乗者の方がふとドアを開けた途端に犬が本線のほうに走って行って事故にあったということもありました。

——ドライバーにお願いしたいことはありますか。

高速道路では2時間に1回は休憩をとっていただきたいものです。また、運転の邪魔にならないよう犬を



クレートなどに入れていただきたいです。

JAFのホームページには車内の温度がどのくらい高くなるかのデータや、衝突したときにシートベルトをしていないとどうなるかなどの映像などもアップしていますので、ぜひ参考にしてください。

愛犬が急ブレーキなどでケガをしないよう、クレートや犬用シートベルトで安全なドライブを。(写真/トヨタ・カーグッズ通販ハピカラより)

## トヨタが指南！ 安全運転のポイント

飼い主と愛犬が快適なカーライフを満喫するためにすすめられている「トヨタドッグサークル」を運営する㈱トヨタマーケティングジャパン コミュニケーション局プロモーション室 販促グループ・青木崇さんに安全運転のヒントについて、伺いました。

——犬にやさしい運転方法はありますか。

犬に快適な運転は、基本的に人間に快適な運転と同じです。急発進・急ブレーキを避け、カーブでは速度を落としてゆっくり曲がれば、車酔いの原因になる揺れを防ぐことができます。安定して走行できる高速道路よりも、発進や停止、カーブが多い一般道のほうが車酔いを起こしやすいので、一般道を進むときでも休憩を忘れずにとることが大切です。

——犬はどこに座らせるのがよいのでしょうか。

犬の安全を考えれば、後部座席や荷室にケージを固定してそこに入れるのが一番いいと思いますが、ここでは落ち着かない犬もいるようです。

ね。どこにケージを置くにしても、飼い主さんと犬の安全を考えると、きちんと固定できるところに置くことが重要です。

——ドアの開け方や閉め方で注意点はありますか。

ドアを開ける前には必ずリードをしつかり持ち、飛び出しによる事故を防ぎましょう。そのためには「マテ」を覚えさせておく必要があります。また、ドアの急な開け閉めは、愛犬を驚かせたり、ドアに愛犬をはさんだりすることもあります。注意してください。

——ほかにとくに注意すべき点について教えてください。

暑さや寒さに弱い犬種もいますから、車内の温度管理には十分気を配っていただきたいですね。また、休憩をこまめにとることが大切です。車に慣れないうちは30分に1回くらいを目安にするとよいでしょう。運転席には近寄らせず、とくに運転中は自由にせず、必ず犬用のシートベルトを着用させるかケージに入れるようにしましょう。誤飲する可能性のあるものを車内やケージ内に置かないことも大切です。車酔い防止のためにも、揺れの少ない安全運転を心掛けていただきたいと思います。

### メーカーおすすめ安全空間グッズ

犬にとって快適・安全な空間は、飼い主さんにとっても快適・安全な空間になる——、そんな考えから生まれたカーグッズです。詳しくはトヨタの販売店にお尋ねください。



#### ペットシートカバー

愛犬のよだれや抜け毛、引っ掻き傷などから車を守ります。内側にはすべりにくい加工がしてあり、丸ごと水洗いも可能。固定することができ、分割すれば隣に飼い主さんが座ることもできます。S・Mの2サイズ。

#### 車内用ペットキャリー

シートベルトなどでしっかりと固定できるペットキャリー。取り付けも簡単で、使用しないときは折りたたみ、汚れたら水洗いも可能です。S・M・Lの3サイズ。



#### リードコード

車内に愛犬をつないでおきたいときに、ヘッドリストに取り付けて使います。持ち手の長さの調整も簡単です。